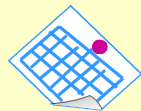


立志記念行事

令和4年2月1日（火）、足尾焼窯元「正三窯」齋藤様を講師にお招きし、立志記念行事として陶芸教室を行いました。齋藤様の熱心なご指導の下、生徒は思い思いの作品を仕上げました。また、総合的な学習の時間に、一人一人立志作文を発表しました。約2時間にわたる発表でしたが、級友の発表に真剣なまなざしを向けていました。そして、夢や目標に向かって、自分自身の思いを新たにしている様子でした。

立志式につきましては、コロナ禍のまん延防止等重点措置の延長により、二度の延期となり大変ご迷惑をおかけしています。来年度は中学3年・・・義務教育を修了し、生徒は人生で初めて、自分の進路、自分の生き方を、自分で考えて家族と相談し、選択・決定することになります。3年生になる直前のこの時期に立志式を行うということは、とても意義深いものになります。どうか趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。



3月の学校行事

1	火	1, 2年チャンス相談
4	金	2年立志式延期・1年スキー教室中止
7	月	県立一般入試
9	水	卒業式予行
10	木	卒業式
11	金	県立合格発表

15	火	2年立志式
18	金	学期末特別清掃
21	月	春分の日
24	木	修了式
30	水	離任式
4/8	金	始業式

● コロナ禍～まん延防止等重点措置3月6日まで延長～

まん延防止等に伴う急な対応にご理解、ご協力ありがとうございます。コロナ禍はまだまだ予断を許さない状況です。ご不便やお手数をおかけしますが下記のことにご協力をお願いします。

○毎日の検温等健康チェックをお願いします。○不要不急の外出を避けるようにお願いします。

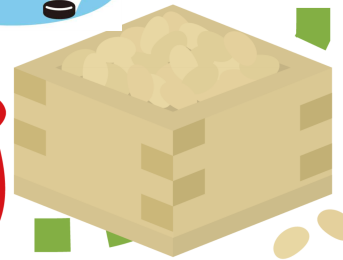
○家族全員の検温等健康観察を十分行い、かぜ等の症状がみられる場合は、かかりつけの病院にご相談ください。

思わぬ出来事～のぼり旗の効果～

1月27日（木）、美術部顧問の大橋先生に、突然一本の電話がありました。それは、鹿児島県国体アイスホッケー成年男子チームの監督さんからでした。監督さんは、「現在栃木県で開催されている国体に参加し、鹿児島県に戻っての電話です。日光市を訪問し国体参加の際に、御校制作による鹿児島県応援ののぼり旗を拝見しました。素晴らしい作品に感激し、お礼の電話を差し上げた次第です。」と九州弁で話されたそうです。大橋先生は、美術部員15名で制作したことやロケットは1年生女子のアイディアであることなどを伝え、最後にお礼を述べて電話を切りました。コロナ禍で何かと暗い話題が多い中、

思わぬ出来事に、職員室は温かい雰囲気になりました。美術部のみなさんありがとう。

アイスホッケー鹿児島県成年男子



● のぼり旗の効果 パートⅡ

2月17日（木）、何と、監督さんからお礼の手紙が届きました。一部を紹介します。
「美術部の皆様へ。鹿児島県アイスホッケー成年チームの監督です。～宇宙やロケット、西郷さんやぐりぶーをモチーフにさせていただいたこと～私はJAXAのロケット基地で仕事をしています。～応援旗の御礼に内之浦で打ち上げられているイプシロンロケットのファイルを送らせていただきます。」 何とうれしかったよりでしょう。早速お礼の手紙を書くそうです。



学力向上コーディネーター 最終回

今年度は、先生方の授業力向上と生徒の学力向上のため、年に6回、栃木県教育委員会より学力向上コーディネーターの齊藤先生にお越しいただき、指導・助言をいただきました。そして、2月1日（火）が最終回となりました。学校は、一人一台端末が配布されたこともあり、ICTの有効活用などを探りながら、分かる授業に努めてまいります。アンケートより、藤中生はスマホの利用や動画視聴の時間が長いこと、家庭学習の習慣化が図られていないことなどが指摘されました。自分の進路や生き方について考えさせながら指導していきたいと思います。

「為せば成る、為さねば成らぬ何事も！」

